

2018年2月26日

【インパクト投資】株式会社キュア・アップへの投資

～禁煙等の治療アプリ開発・提供の支援を通じたインパクト投資第三号案件～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、疾患治療用アプリの開発を行う国内ベンチャー企業の株式会社キュア・アップ(代表取締役社長:佐竹 晃太、以下「キュア・アップ」)に対し、ESG 投資の一環であるインパクト投資¹として2億円の投資を実施しました。なお、本投資は当社におけるインパクト投資の第三号案件です。

キュア・アップは、医学的知見に基づきスマートフォンを通じて病気を治療する「治療アプリ[®]」の研究開発・提供を行うベンチャー企業です。「治療アプリ[®]」は、外来受診時以外にも、個々の状態に応じて適時適切なフォローを行うことができることから、治療の有効性・効率性を高めることが期待されています。第一弾として、禁煙治療(ニコチン依存症治療)のための治療アプリの治験を開始し、今後国内初の薬事承認を目指しているほか、他の疾患医療用治療アプリについても研究を進めています。

「治療アプリ[®]」を用いた治療が普及することで、患者の減少、健康寿命の延伸、医療費の削減といった社会課題の解決に大きく寄与すること(社会的インパクト)が期待されます。当社は、本投資を通じて高い投資収益を期待するとともに、そうした社会的インパクトが期待されるキュア・アップの取組みを資金面からサポートします。

当社は、引き続き運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投資に積極的に取り組んでいきます。

《ご参考》これまでのインパクト投資事例

案件名	リリース日	URL
「インパクト投資」の開始 ～第一号案件としてマイクロファイナンス事業支援を行う五常・アンド・カンパニー株式会社へ投資～	2017/10/23	http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2017_043.pdf
【インパクト投資】Spiber 株式会社への投資 ～新世代バイオ素材開発の支援を通じたインパクト投資第二号案件～	2017/10/23	http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2017_044.pdf

¹ E・S・G とは、それぞれ Environmental、Social、Governance の頭文字です。当社では、安全性・収益性の視点に加え、社会性・公共性(環境保護や社会貢献、ダイバーシティへの取組み、コーポレートガバナンス等)の視点も盛り込んだ ESG 投資に取り組んでいます。なかでも、運用収益の獲得と社会的インパクトの創出(社会の構造変化等)の両立を意図して投資判断を行う投資手法を「インパクト投資」として定義しています。

株式会社キュア・アップ代表取締役社長の佐竹 晃太氏は以下のように述べています。



「弊社が開発を進めている『治療アプリ®』は、今までの医療では介入できなかった診療と診療の間の『空白期間』のサポートを可能にし、患者様に寄り添った質の高い治療の提供ができる他、医療費削減や地域間格差といった社会的課題の解決にも寄与できると信じています。今後、我が国における治療アプリ・デジタル療法の確立を目指し、ESG 投資が目指す『社会的インパクトの創出』にも貢献できるよう、引き続き全力で事業に取り組んで参ります。」

【会社概要】

商号	株式会社キュア・アップ (CureApp, Inc.)
本社所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町 12-5 小伝馬町 YS ビル 4 階
代表者	佐竹 晃太 (代表取締役社長)
設立	2014 年 7 月 31 日
資本金	1,966,500,000 円
事業内容	プログラム医療機器開発、PHR (パーソナルヘルスレコード) 事業、モバイルヘルス関連サービス事業